

竹繊維植生基材吹付工 『とっとりエコダー』緑化工法

綿状生竹繊維緑化基材を用い、接合剤とラス金網が不要となることで、自然環境変化に順応する浸食耐久性植生工

- 自然環境変化に順応する 浸食耐久性植生システム -

近年の集中豪雨等の異常気象・気候変動などより、山間地域や道路法面などでの斜面崩壊が頻繁に発生しています。これまでも、各種の法面保護対策が施されていますが、法面保護工の植生工の中でも一般的な工種である、植生基材吹付工において、竹を主原料とした緑化資材と緑化工法を開発いたしました。

青竹を捻り潰し繊維状に加工した『綿状竹短繊維』を70%配合した『とっとりエコダー緑化資材』により植生基材吹付工にて造成された緑化基盤層は、『綿状竹短繊維』の絡みによる結合とスポンジ状の空隙による透水排水効率が向上したことから豪雨に対する浸食防止効果が高く、保水性能も向上しました。

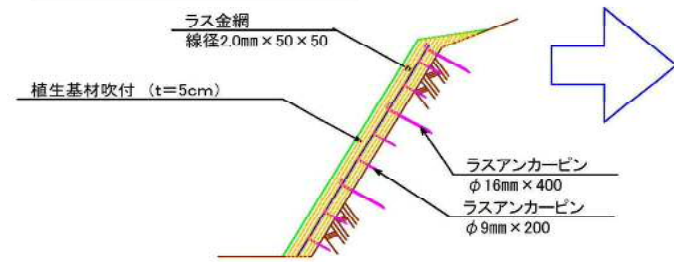
『綿状竹短繊維』は、竹繊維の特性である、“しなやか”な性質を持つことで、緑化工成立までの気象環境による、乾燥、凍結などのストレスに抵抗力があり、降雨、融解後には、柔軟な緑化基盤層が復元します。

また、『綿状竹短繊維』を用いることで、『空中窒素固定菌誘導技術』により、肥料の投与も必要なく、自然の植生が維持されます。

『とっとりエコダー緑化工法』は、気象環境ストレスへの高い抵抗力と、自然界の植生システム応用技術による植生基盤を造成することにより、植物の生育環境が保たれ、人為的に急速緑化を図らずとも、植物本来の自然な生育により、植物が遷移し、永続的に緑化が維持されます。

従来技術

ラス金網に化学肥料、接合剤を配合した生育基盤材を吹付、緑化植物の根系の急速な伸長により、法面を保護する。



従来型 植生基材吹付工
適用範囲：吹付厚さ t=3-10cm
法面勾配 1：0.5より緩斜面
法高 法面垂直高さ80m以下

とっとりエコダー

50リットル

鳥取県認定グリーン商品



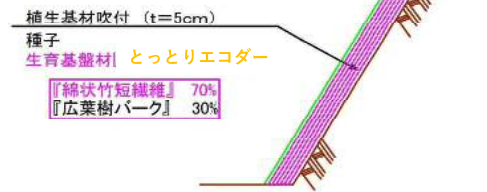
綿状竹短繊維 70%



国産広葉樹バーク 30%



綿状竹短繊維緑化基材を用い、接合剤とラス金網を使用しないことで、干ばつ、降雨、凍結などの気象変化に緑化基盤が順応し、自然環境に対応可能な浸食耐久性のある緑化技術。



『とっとりエコダー緑化工法』
適用範囲：吹付厚さ t=3-10cm
法面勾配 1：0.5より緩斜面
法高 法面垂直高さ80m以下

施工例

工事名：飛時原地区急傾斜地崩壊対策工事
発注者：鳥取県日南町 6ヶ月後



工事名：林道大林線災害復旧工事（平成30年台風24号）
発注者：鳥取県日南町 6ヶ月後



降霜・凍結・融解

『綿状竹短繊維』のしなやかな特性と『化学合成接合剤』を使用しないことで、冬期の凍結時にも緑化基盤は劣化剥落することなく融解後は柔軟に復元し、緑化基盤の機能が保持されます。

冬期 1月吹付
降霜による緑化基盤の凍結



春期 4月
凍結融解後の発芽



夏期 7月
緑化植物の生長による緑化工完成



R100ソイル工法研究会



【事務局】

中国支部 日本緑創株式会社
TEL 086-261-0688 FAX 086-261-7305

【製造元】

北溟産業有限公司
〒682-0645 鳥取県倉吉市岡20-10

